事業番号	10 04 04		事業改善シート(24年度実施事業分)		予算要求 [	]予算案  ■点検				
事業名			県単道路改築費	担当	部局	建設部				
尹 未 乜					課・室	道路建設課				
<参考>	プロジェクト			課	E-mail	michiken@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年	施策の総合的展開	5 - 2	快適で暮らしやすいまちづくり							
計画	旭泉の総古り展開	2	暮らしを支える道路網の整備	PIN	実施期間	T8 ~				
, <u>*</u>										

## 1 事業の概要

目	指する	県民の安全・安心の暮らしと産業・経済活動を支える幹線道路網や身近な生活道路の整備のうち、比較的規模の小さいものや緊急に整備を必要とする箇所の道路整備を進め、活力ある地域社会を創る。 成果目標:国・県道の道路改良率 65.6%(H22)→67.5%(H29)															
3	涀状	○県内の道路延長は全国第5位であるのに対して道路改良率は全国35位 65.6%(H23.4.1現在)であり、地域の暮らしを支える道路の整備が遅れている。 ○幹線道路及び生活道路の整備に対する県民ニーズは非常に高い。															
	が関 <i>4</i> る理日	ラ 口民間 市町村で	□民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有						【左記の説明、根拠法令等】 道路法で指定区間外の国道及び県道の整備は県で行うものとされている。 道路法12条、13条、15条、42条								
① 成果目標(H24)  ○国・県道の改良率を66.2%(H25.3月末)とする																	
		②事業内容	② 事業内容								(単位:千円) H24 H25						
事業内容		項	目	実施方	法	H24事業実績						算)	H25 (当初)				
		月 畄 道 蚁 孙 筑				事業実施 161箇所、事業完了 35箇所 4,13:						51,834	3,894,055				
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<b>水平坦昭以采尹未</b>			事業実施 161箇所、事業完了 35箇所 4,131,225 5,261						01,004	3,094,000				
		<u> </u>															
		\$															
									合計	4,131,22	25 5,26	51,834	3,894,055				
	区	分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度			成里日	標の達成	<b>出</b>						
		前年度繰越			47 1.718.890				味の足水	H 2 4 H25							
事業	予 算 額 _	当初予算	1,641,892 4,761,000	4,378,750				項目	(見込)	目標	成果	達成状況	• I				
		補正予算	652,504	994,409				国・県道の改良率	65. 9	66. 2	66. 2	達成	66. 4				
		合計(A)	7,055,396	, ,				日 州連り収入す		00.2		X1//X					
⊐	4.0	国庫支出金 県 債	1,690,599 3,993,000	588,000 5,052,000													
	Aの 財源	宗 頂 その他( )	121,242	33,839													
ス		一般財源	1,250,555														
۲	決	算 額(B)	5,140,025	4,892,983	5,261,834												

目標に対 する成果 の状況

平成24年度末の道路改良率は66.2%となる見込みであり、期待どおりの成果が得られた。

43.03

41.69

5,140,025 4,892,983 5,261,834 5,612,945

43.37

## 2 今後の事業の方向性

概 算 職員数(人) 人件費 概算人件費(C)

概算事業費(B(A)+C)

44.97

今後、事業 をどのよう にしていき たいか。 □ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

総合5か年計画の主要施策「快適で暮らしやすいまちづくり」における主要な取組であり、平成24年度においては概ね期待どおりの成果が得られた。幹線道路及び生活道路の整備に対する県民ニーズは非常に高いことから、コスト縮減等に努めつつ、平成25年度は改良率66.4%を目標に、また、平成26年度以降も総合5か年計画における成果目標である67.5%(平成29年度末)の達成を目指して、引き続き整備を進める。